

2009（平成 21）年 9 月 8 日

沖縄県議会議長

高嶺 善伸 殿

沖縄リーフチェック研究会

代表 安部 真理子

すなっく スナフキン

代表 西平 伸

じゅごんの里

代表 東恩納 琢磨

「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情書

私たちは 1998 年より沖縄島東海岸の海域において、サンゴ類をはじめとする自然環境調査を継続的に実施してきました。名護市大浦湾は未知の部分が多く、その一つが 2007 年 9 月に発見された「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」です。単一の種からなるサンゴ群集がこのような規模（長さ 50m、幅 27m、高さ 12m）に達するというは他に報告例がなく、発見以来、各研究機関の方々や WWF ジャパン、日本自然保護協会との合同調査をもとに学術的な価値を探究してきました。

その結果、アオサンゴ群集を取り巻く環境、すなわち大浦湾とその周辺全体が生物多様性に富む豊かな海域であること、また、白化現象やオニヒトデ被害等、琉球列島のサンゴ礁が危機的状況にあるなか、「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」は健全な状態を保っていることが分かってきました。このアオサンゴ群集は世界的にも貴重で普遍的な価値を持つことから、天然記念物として積極的に保護し、次世代へ引き継ぐべき沖縄の宝であると考えられます。

一方、2010 年 10 月には、生物多様性条約第 10 回締約国会議が日本で開催されます。アオサンゴ群集の天然記念物指定は、沖縄県のサンゴ礁保全への取り組みの姿勢を世界に伝える良い機会になると思われれます。

以上のことから、「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」を沖縄県天然記念物に指定することを陳情します。

なお、本件に関しては 2008（平成 20）年 9 月にジュゴン保護基金委員会より陳情書が提出されていますが、その後新たな調査結果や学術的な知見が公表されたので、天然記念物にかかる審査にこれらの資料もご参照いただくようお願いします。

理由：

- (1) アオサンゴは IUCN（国際自然保護連合）のレッドデータリスト絶滅危惧Ⅱ類に掲載されるほど世界的に危機的状況にある。
- (2) 大浦湾チリビシのアオサンゴ群集は、石垣島・白保のアオサンゴ群集とは形状が異なるが同様に規模も大きく（長さ 50m、幅 27m、高さ 12m）、他に報告例がないことから世界的に見ても希少なものと云える。
- (3) 遺伝子解析の結果、石垣島・白保のアオサンゴ群集とは異なる遺伝子構成をもつことが判明した。

したがって他の海域に生息するアオサンゴ類とは区別して考える必要がある。

- (4) 遺伝子解析の結果、クローンである可能性が非常に高いことがわかった。これは環境の変化への耐性が弱いということであるのでより、積極的な保護担保と保全対策が必要であることを意味する。

添付書類：

- (1) 東京新聞 2008 年 4 月 15 日「命の多様性どう守る 最大級アオサンゴ群集」
- (2) 沖縄島・大浦湾におけるアオサンゴ群集 合同調査レポート（速報）
～生物多様性豊かな辺野古・大浦湾の海～ 2008 年 7 月発行
- (3) The Daily Yomiuri. 2008 年 7 月 22 日 「Verdant seas」
- (4) 読売新聞 2008 年 10 月 7 日「哺乳類 4 分の 1、絶滅危惧種に」
- (5) 大浦湾生き物マッププロジェクト報告書 2009 年 3 月 5 日発行
- (6) 辺野古・大浦湾 アオサンゴの海 生物多様性が豊かな理由 ―合同調査でわかったこと―
WWF ジャパン発行・日本自然保護協会ほか 2009 年 4 月発行
- (7) 月刊 地図中心 通巻 442 号「特集 大浦湾の海 大浦湾を識る」。財団法人 日本地図センター
2009 年 7 月 10 日発行
- (8) 第 10 回日本サンゴ礁学会第 11 回大会講演要旨集 p92 「石垣島東海岸と本島大浦湾における
アオサンゴ群集の地形的・遺伝的特性の把握」2008 年 11 月 21 日 日本サンゴ礁学会第 11 回大会
実行委員会
- (9) 第 10 回日本サンゴ礁学会第 11 回大会講演要旨集 p57「沖縄島・大浦湾におけるアオサンゴ
(*Helipora coerulea*) 群集の調査結果（速報）」2008 年 11 月 21 日 日本サンゴ礁学会第 11 回大会
実行委員会
- (10) 琉球新報 2008 年 11 月 23 日「大浦湾アオサンゴ 単一遺伝子型と判明」

賛同団体・賛同者：

沖縄・生物多様性市民ネットワーク

(財) 日本自然保護協会

WWF ジャパン

国土舘大学教授 長谷川 均

南山大学教授 目崎 茂和